爲めに何等有效のものでないのみならず、反つて支配階級の爲めに勞働階級の戰鬪的精神を鈍らすものであると信ぜざるを得ざるに至り、第四回の總會に當り國際勞働機關そのものを否認するの決議をなすに至つたのである。

（從來の態度を變更せる理由）

然るに最近になつて、吾々は諸種の著しい變化、若しくは進歩的現象の現はれを見るに至つた。卽ち其の第一は、從來、距離の遠さや言語の相違の爲めに吾々の知ることの出來なかつた諸種の勞働機關關係の事情が國際勞働局東京支局長淺利順四郎君や、同志棚橋小虎君を通じて漸く吾々に了解されるに至つたことである。中にも昨年の第五回總會に於ける日本勞働委員資格問題に就て、日本の組織勞働者の爲めに奮鬪された勞働團の目覺しい活躍や、また昨年末、此の機關に關係深きジユオー、メルテンス、オウドゲストの三氏より前記淺利君を通じて「日本の組織勞働者諸君へ」と題して送られ

財團法人協調會大阪支所